

村本喜代作 むらもと きよよ 郷土隨筆家。明治二十二年十一月十六日静岡縣焼津生れ（一六〇一）。筆名山雨樓主人、東山京之助、浮島城太郎、静秀學人等。『關西日日新聞』編輯局長、『福井實業新報』主筆、淡海白報社社長、『静岡民友新聞』編輯局長兼支配人歴任。政教社（經營）の月刊『うねり』を刊行。

著書 『書畫道』（山雨樓主人名、大正十五年六月十日静岡・書畫道刊行會）、『次郎長巻談』（同、昭和二十八年十月二十五日静岡・山雨樓叢書刊行會）、『駿城デカメロン』（同、内題「駿城デカメロン」昭和二十九年六月十日静岡・山雨樓叢書刊行會「山雨樓叢書」）、『うねり抄』（浮島城太郎名、昭和二十年十一月十日中央文芸社）、『慶安騒動と静岡事件』（山雨樓主人名、昭和二十四年十月五日静岡・山雨樓叢書刊行會）、『関孝和と内山家譜考』（昭和二十八年四月一日内山商事株式会社）、『山田長政の史的考察』（山雨樓主人名、昭和二十八年十一月一日静岡・政教社）、『徳川家康替玉説』（村本山雨樓主人名、昭和四十年四月五日静岡・政教社）、『静岡事件の全貌』附録前巻頼土吉散入『嶽窓雜記』（同、昭和四十二年五月十日静岡・政教社）等。

